

1. 当該診療科の特徴	<p>診療内容、症例数より、日本医学放射線学会の専門医修練協力機関に該当します。 CT3台、MRI2台、血管撮影3室、放射線治療装置等、装置や設備が充実。 画像診断・IVR核医学部門ならびに放射線治療業務にそれぞれ専従した専門医を有し、放射線科専門医(一次試験)、放射線診断専門医(二次試験)または放射線治療専門医(二次試験)の受験資格を得ることができます。</p>													
2. プログラムの特徴	<p>放射線科診断学に必要な症例・経験がほぼ網羅できます。 放射線科専門書、専門誌を通じて知識を得るとともに、院内外のカンファレンスに出席し、知識を深めます。さらに放射線診断を通して、放射線防護への意識を高めます。 初期臨床研修終了後から3年間、放射線科専門医の一次試験までは、診断と放射線治療の全般について修練を行います。初期臨床研修終了までにすでに診断か治療かの志望分野が決まっている場合、それぞれの分野への修練内容に重点が置かれます。 一次試験合格後は、放射線診断専門医または放射線治療専門医の各分野に分かれて、二次試験までの2年間、放射線業務を担当しつつ修練を続行することになります。</p>													
3. 到達目標	<p>初期臨床研修に引き続き、放射線科医として必要な画像診断、interventional radiology、核医学検査、および放射線治療について診療できる知識・技量を身につけることを目指します。 具体的には放射線診断では、検査中に発生しうる副作用を理解し、対処法を習得、検査の種類およびその原理の理解と基本的な検査手技の習得、診断に有用な情報が得られるような検査の立案と実施、実施した検査に対する報告書の作成などがあげられます。 最終的には、各科臨床医・病理医との間において議論や的確な助言ができるとともに研修医に対し、放射線医学に関する基本的な事項の指導を的確におこなえることが求められます。</p>													
4. 研修期間	一次試験までの3年間、または一次・二次試験まで合わせた5年間。													
5. 取得が可能な資格等	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="555 1238 635 1265">学会名</th> <th data-bbox="1043 1238 1193 1265">取得可能資格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="485 1272 708 1301">日本医学放射線学会</td> <td data-bbox="970 1272 1267 1301">日本医学放射線学会専門医</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 1308 708 1337">日本医学放射線学会</td> <td data-bbox="884 1308 1353 1337">放射線診断専門医または放射線治療専門医</td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 1344 670 1373">日本IVR学会</td> <td data-bbox="1011 1344 1225 1373">日本IVR学会専門医</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1027 1379 1209 1408">臨床研修指導医</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学会名	取得可能資格	日本医学放射線学会	日本医学放射線学会専門医	日本医学放射線学会	放射線診断専門医または放射線治療専門医	日本IVR学会	日本IVR学会専門医		臨床研修指導医			
	学会名	取得可能資格												
	日本医学放射線学会	日本医学放射線学会専門医												
	日本医学放射線学会	放射線診断専門医または放射線治療専門医												
	日本IVR学会	日本IVR学会専門医												
	臨床研修指導医													
6. 指導体制	放射線診断専門医2名、放射線治療専門医1名。													
7. その他														